

クリスマスコンサート

患者サービス向上委員 高橋佳子

恒例のクリスマスイベントとして、平成16年はロビーコンサートを企画しました。

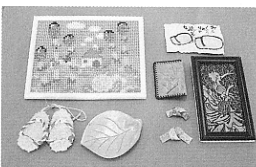
ジャズシンガーとして活躍している朝田麻里さんを迎えて、きよしこの夜、テネシーワルツ、マイウエイ、ふるさなど多岐にわたる曲目を歌っていただきました。御主人である黒瀧榮一さんのピアノ伴奏と当院の宮城島副院長のサクソフォンの響きはコンサートを華やかに盛り上げました。

総合受付前の中央待合ホールは入院患者様や外来患者様でいっぱいになりました。朝田さんは曲の合間に患者様達と握手して「元氣になって帰りましたよ。うね。」「頑張りましたよ。うね。」と語りかけていました。とても暖かいクリスマスプレゼントになったと思います。

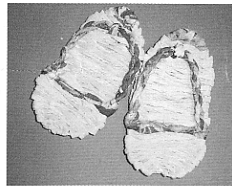


実際の作業の様子

例えは主婦の方で料理ができるように目標を立てた時、①歩くのが不自由な場合、座ったり寄りかかりながらの調理から始め、徐々に立つ時間を長くしていく②手が不自由な場合、使いやすい調理器具で練習したり、柔らかな食材から取り組む。その方に合わせて



▲患者さんの作品



リハビリテーション科、作業療法士 石田 さえ子

作業療法は、システムキッチン、はたおり機、電動糸鋸、陶芸のロクロなどがある場所があるのをご存知ですか？それはリハビリテーション科の作業療法室です。一階のエレベーターホールからさらに左奥にいったところなので知らない方も多いと思います。

リハビリテーションは運動や歩く練習、体を動かしてもらおうというイメージが強いと思います。作業療法はそれに加え少し変わった方法も用います。皆さんは体が不自由になった人が、趣味や家事などをして「リハビリだと思ってる」という「いいリハビリになるわ」という言葉を耳にしたことはありませんか？作業療法とはまさにそれで、私たちが普通の暮らしの中で

リハビリテーション科 作業療法を紹介

作業療法士 石田 さえ子

ている様々なことを治療として活用しています。ですから先に書いたように、色々な手工芸の道具や、家庭の環境を再現するための和室・お風呂・冷蔵庫なども備えています。また当院の作業療法室は他の病院に比べかなり広いので、大きな机を全身で動かす「もちつき台」など大型の器具や手作りの訓練器具が多くあるのも特徴です。

作業療法では体の状態はもろもろのこと、身の回りのことをどう行っているか、仕事の内容や趣味などその方が必要としている技能は何か、家や職場の環境は問題ないか、ご自身の能力をどのように感じているか、など様々な面について話を聞いたり実際に行動したうえで内容を決めます。

例えば主婦の方で料理ができるように目標を立てた時、①歩くのが不自由な場合、座ったり寄りかかりながらの調理から始め、徐々に立つ時間を長くしていく②手が不自由な場合、使いやすい調理器具で練習したり、柔らかな食材から取り組む。その方に合わせて

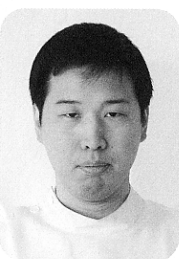
道具を作る場合も③似たような動作でご本人が興味を持てる作業（たとえば粘土細工など）を行うことで能力をつけていく、など様々な方法で行います。時には実際にスローペースで一緒に買い物に行ったり自宅を訪問することもあります。

また、仕事に復帰する方も多いので出来るだけ実際の仕事に近い作業を選び、無理な姿勢でも出来るか、長時間の労働に耐えられるかなどを確かめ、ご自身で「これならやってみよう」と思えるようにお手伝いしていきます。

作業療法では、それまで「患者の〇〇さん」だったのが、道具を手にしたとたんその方本来の表情、しぐさが現れ、大げさな人生を感じられる瞬間があり、部屋全体に病院らしからぬ雰囲気があります。興味をもたれた方は一度ご覧になってはどうですか？

** 労災病院ドクター紹介 Vol.15 **

- ①職種・氏名 ②生年月日・血液型
③出身地 ④専門・得意分野
⑤趣味等簡単な自己紹介・患者さんへ



加納 崇裕 先生

①神経内科医師・加納崇裕
②昭和50年4月24日・B型
③旭川市

④神経疾患全般
⑤鉋路に赴任して数ヶ月が経ちました。病院に慣れてきた頃、夜に家が大きく揺れ飛び起きたことを伝えていました。それから数回大きな揺れを経験しましたがまだ慣れていません。「鉋路人」にはまだほど遠いようです。



金 景成 先生

①脳神経外科副部長・金景成
②昭和44年8月23日・O型
③東京

④脊椎・脊髄疾患
⑤昨年10月より脊髄疾患の指導的立場におられる脳外科井須部長のもとで脊髄疾患を学ばれて、遠路東京から赴任して参りました。初めての北海道で寒さと雪に動揺しない人々に感動しております。趣味は食べ歩き、特技はサウナへ長く入れること、今流行のハンケチをできることです。サウナで見かけた際は決して競わず、気軽に声をかけて下さい。



石田 隆司 先生

①整形外科副部長・石田隆司
②昭和43年5月15日・B型
③旭川市

④日本整形外科学会脊椎脊髄病専門医
⑤腰痛や手足のしびれなど脊椎疾患全般を診療しております。骨や関節・脊椎の疾患は患者さん自身も病気をよく理解することが大切であり、自己管理が症状を大きく左右します。当科では病態を正確に把握し適切に対処いたします。他院や他科で手術を勧められた場合のセカンドオピニオンも対応しますので是非相談にいらして下さい。

入院される患者さまへ



NO SMOKING

当院は敷地内も含め全館禁煙となっております。

入院時のタバコの持ち込みはご遠慮ください。

鉋路労災病院院長

編集後記

新潟やインド洋で大きな地震が起き、鉋路でも地震が頻ります。災害に気をつけ、一年無事にすごしたいものです。

神経内科 津坂 和文

大地震が頻発する今日この頃です。この世の終わりを考える前に災害グッズをそろえようと考えています。

看護部 深瀬 光枝

まだまだ寒い季節ですが、3月からJリーグが始まります。ガンバレ・コンサドーレ札幌。春はもうすぐだ。

薬剤師 梶原 徹

ツルツル路面で滑りやすい歩道を歩く度、「車社会」を痛感します。UD（ユニバーサルデザイン）パンザイ！

リハビリ科 田口 暢秀

年末年始は毎年おせちとお酒で体がぶっくぶく。でも、これは僕の防寒作戦なんです（苦）。

放射線科 阿部 匡史

今シーズン、スタッドレスタイヤを買いました。新品なのに昨シーズンより滑る気がして納得いきません。冬道の運転、スピードダウンを心がけましょうね。

中央検査科 遊佐 純教